

東北復興 PSW にゆうす

新年明けましておめでとうございます。今年も構成員の皆さまや東北の福祉事業所の皆さまへ、東北の「今」をお届けしていきます。残念なことに昨年も、日本各地で災害が起こりました。そして今後も、災害に見舞われる可能性があります。このような状況だからこそ、東北復興 PSW にゆうすや復興支“縁”ツアーなどを通して、これまでのご縁や新たにご縁を繋いでいきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災復興支“縁”ツアー募集開始！！

2020年3月14日（土）、15日（日）に、昨年に引き続き、東日本大震災復興支“縁”ツアーが行われます。今年は主に宮城県の南三陸地域をめぐる予定です。裏面の募集案内チラシの紙面では紹介しきれなかった、今回のツアーのポイントなどについてお知らせいたします。

のぞみ福祉作業所

震災により施設が全壊。2度のプレハブ仮設移転を経て2019年2月に新社屋が完成。メンバーがデザインしたハガキの中にはモアイの絵が？ 震災からこれまでの道のりや南三陸町とモアイの関係など、色々なお話を伺うことができる視察となっています。当日は現地で製品を購入することも可能です。

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「目に見える証」として活用し、気仙沼市が目指す「津波死ゼロのまちづくり」に寄与することを目的とし設立されました。映像記録を見た後には、被災した気仙沼向洋高校旧校舎を見て回ります。

講話&グループワーク

東日本大震災から9年。震災当時から現在まで被災地で活動する嵐朋子さん（本協会構成員）にお話を伺います。これまで語ることでできなかったこと、9年を経てようやく話せること、いまだに話すことが難しいこと、様々な想いをこれまでの活動とともに振り返り、皆さまと共有し、これからを考える…そんな機会にできればと思います。

懇親会

世界三大漁場のリアス式海岸である三陸沖で水揚げされた魚をスペインバルスタイルのレストランでお楽しみいただきます。美味しい料理に舌鼓を打ちながら懇親を深めましょう！

その他

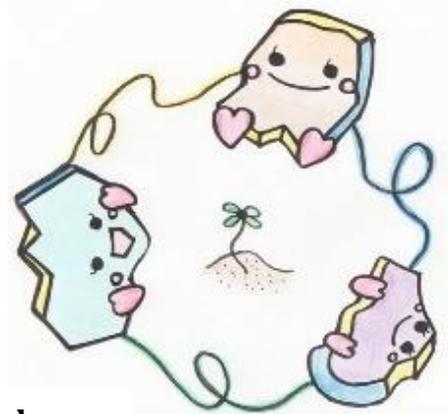
バスでの移動時間中も、様々な企画を準備いたします。



【昨年のツアーより】



【龍の松～気仙沼市の復興のシンボル～】



避難のタイミングを再確認

昨年の2019年台風第15号、台風第19号の台風被害の際に、その避難タイミングに迷い、逃げ遅れた方もいました。今回は改めて、警戒レベルに対しどのような行動が必要かをご紹介します。

レベル3：高齢者等避難！！

(障がいがあり、避難に時間を要する方々も含まれます)

レベル4：全員避難！！

警戒レベル (洪水、土砂災害)	住民がとるべき行動	行動を促す情報	備考
警戒レベル5	命を守る最善の行動	災害の発生情報	市町村が発令
警戒レベル4	避難	避難勧告 避難指示(緊急)	
警戒レベル3	高齢者等は避難 他の住民は準備	避難準備 高齢者等避難開始	
警戒レベル2	避難行動の確認	注意報	気象庁が発表
警戒レベル1	心構えを高める	警報級の可能性	

*内閣府 防災情報ページ「避難勧告等に関するガイドライン」より引用

震災被害、台風被害にも負けず！

東日本大震災の被害で不通となり、そして廃線の可能性もあった JR 東日本の宮古駅～釜石駅は、2019年3月23日に三陸鉄道へ移管のかたちで、開通となりました。実に8年ぶりの開通で、それは地域住民にとっても待ちわびた開通でありました。そんな中、昨年の台風19号の被害で、またしても不通になってしまいました。一時は、全区間開通の目処が立たないのではとの噂もありましたが、この度、2020年3月下旬頃には全区間開通の予定が発表されました。岩手の遅い桜の開花に間に合う予定です。度重なる災害に負けずに、ご尽力している関係者の皆さまには、心から感謝申し上げます。

岩手県沿岸に桜の咲く4月中旬頃、機会があれば、花見牡蠣という、この時期が旬の珍しい牡蠣を食しながら、岩手県の復興のシンボルのひとつでもある三陸鉄道にご乗車ください。



編集後記

昨年の台風被害を通して、避難所の課題、地域の課題、様々な課題が確認されました。避難所に着いたものの、既に定員一杯で、避難を断られる。ホームレスの方が避難所に向かうも、その受け入れに難色を示した避難所もありました。高齢者の方々の中には、避難したくても避難できず、そのまま自宅に残り、命を失った方もいました。このような課題に対し、どのように対処すれば、一人でも多くの方が安全に避難できるのか、一人一人が考え、発信していくことも、災害に向けての備えでもあるように思います。

(北村)

【ご意見・ご感想をお寄せください】

本委員会では、構成員はもとより、3県の事業所や地域の皆さまとの交流を大事にしております。ぜひ、それぞれのお立場からのお声を聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、本紙面や本協会ウェブサイト、事業所等にご紹介させていただきます。FAX もしくは E-mail : office@japsw.or.jp で皆さまのお声をお聞かせください。★題名に「PSW にゆうすについて」とご記入ください★

第44号 2020年1月15日発行

編集：東日本大震災復興支援委員会

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL <http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>